

# 令和2年度「新たな都市空間創造スクール」募集要領

## 1. 目的

居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成による多様な人材の交流など、都市の魅力の向上を図るためには、官民が連携してまちづくりを進めていくことが重要であり、民間まちづくり活動の担い手を発掘・育成するためには、「民」の活動を下支えする「官」側の意識醸成が不可欠です。

本スクールでは、市町村をはじめとする地方公共団体及び国の行政機関の幹部職員等を対象に、公共空間活用や官民連携の考え方や手法に関する基礎的な知識から実践事例を学ぶことで、民間を活かしたまちづくりについて主体的に考え、民間主導・行政支援のまちづくりを実践できる公務員等の育成を目指します。

## 2. 受講の流れ

- ① 本スクールでは「公共空間を活かしたまちづくり」など官民連携による取組を進める民間有識者及び地方自治体職員等の講師によるeラーニング形式の講義（計4クール）及び集合研修等を行います（別紙1参照）。
- ② 各クールの講義聴講後には課題レポートを提出していただきます（なお、課題レポートの一部については、受講者内で共有する予定）。
- ③ 全クール終了後に最終課題レポートを作成していただき、各地方整備局等における最終課題レポート発表会において、発表していただきます。

## 3. スケジュール（予定）

7月31日（金）正午	申込締め切り
8月7日（金）	受講グループ決定通知、事前課題（課題図書）提示
8月27日（木）	事前課題（課題図書）レポートの提出締め切り
8月31日（月）	第1クール配信、第1課題及び講義に関するアンケート提示
9月24日（木）	第1課題レポート、第1クール講義アンケート提出締め切り
9月28日（月）	第2クール配信、第2課題及び講義に関するアンケート提示
10月15日（木）	第2課題レポート、第2クール講義アンケート提出締め切り
10月19日（月）	第3クール配信、第3課題及び講義に関するアンケート提示
11月5日（木）	集合研修（会場：東京都 ※別途ご案内いたします）

1 1月12日（木）	第3課題レポート、第3クール講義アンケート提出締め切り
1 1月16日（月）	第4クール配信、第4課題（課題図書）、最終課題及び講義に関するアンケート提示
1 2月10日（木）	第4課題レポート提出締め切り
1 1月15日（金）	最終課題レポート、第4クール講義アンケート提出締め切り
1 1月25日（月）以降	最終課題レポート発表・講評（会場：各地方整備局等）

#### 4. 課題について（別紙2参照）

- 本スクールが、各自治体のまちの課題解決に向けて意義あるものになるよう、クール毎に課題レポートの作成を重ね、最終課題レポートに繋がる仕組みとしています。
- 各グループは、各課題レポートを作成する過程において、官民連携まちづくりの舞台となるエリア（まちなか）と課題を設定していただきます。
- 設定したエリアの課題解決に向けて、担い手となる民間プレーヤーの掘り起こしを行います。
- 最終課題レポートにおいては、民間と行政組織（官民連携まちづくりに必要と考えられる行政組織のあり方を含む）が連携した『民間による公共空間活用及び民間を支援する行政の取組と第一歩（案）』を提案・発表していただきます。

#### 5. 参加要件

以下の全てを満たすグループであること。

- (1) 部局長等のクラスの職員を含む3～6名のグループ
- (2) グループを構成する受講者が、同一の市区町村、都道府県、国等の行政機関の職員
- (3) グループの受講者が、以下のすべての要件を満たす。
  - ・新しい知識を吸収し、前向きにまちの課題を解決しようとする意欲があること。
  - ・原則、受講者が「令和元年度 新たな都市空間創造スクール」を受講していないこと。
  - ・各受講者が、本スクール全カリキュラム（課題レポートの作成を含む）への参加が可能であること（なお、集合研修の参加は任意、最終課題レポートの発表会には、各グループ1名以上の参加が必要）。
  - ・各クール及びスクール終了後のアンケートについて回答可能であること。

※ 講義の受講にはパソコンもしくはタブレット・スマートフォン端末及びインターネットに接続できる環境が必要です。

## 6. 定員

50グループ程度      ※ 定員を超える場合、参加申込書により選考を行います。

## 7. 参加費

スクール参加費用は無料ですが、集合研修及び最終課題レポート発表会の参加に係る交通費・宿泊費等は各自負担となります。

## 8. 申込方法

「官民連携まちづくりポータルサイト」内の「国のイベント情報」より、参加申込書（Excel形式）をダウンロードし、グループの連絡窓口となる方がまとめて、以下の宛先までお申し込みください（締め切り：7月31日（金）正午）。

なお、事務局からの返信メールを持って申込完了となります。

- 官民連携まちづくりポータルサイト（「国のイベント情報」に掲載）

<https://www.mlit.go.jp/toshi/event/index.html>

- 新たな都市空間創造スクール事務局      [info@toshi-sozo.jp](mailto:info@toshi-sozo.jp)

※ メール の 件名には「新たな都市空間創造スクール参加申込」と記載して下さい。

※ 参加申込書は、1グループで1ファイルにまとめ、各データの名称には必ず【グループ名】をご記入ください。

## 8. 問合せ先

ご不明点がございましたら、以下までご連絡ください。

### <講義内容・参加要件>

国土交通省都市局まちづくり推進課 塚田、宮森

電話：03-5253-8111（内線：32575、32562）

### <その他のご質問（メールのみ）>

「新たな都市空間創造スクール」事務局

デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 板倉・井上

メール：[info@toshi-sozo.jp](mailto:info@toshi-sozo.jp)

## 令和2年度「新たな都市空間創造スクール」カリキュラム(案)

クール	R2年度			概要
	講義テーマ	講師	時間数	
第1クール 官民連携の先進事例と考え方	公民連携のまちづくり	株式会社 アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水 義次	60分	リノベーションまちづくりの事例や公民連携事業の事例とその有用性について概説
	民間による先駆的まちづくり	有限会社 ハートビートブラン 代表取締役 泉 英明	60分	公共空間を民間が活用した新しいまちづくりの事例とその有用性について概説
第2クール: まちづくりの時代的転換	マネジメント時代のまちづくり	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 副研究科長 社会文化環境学専攻 教授 出口 敦	45分	都市を整備する時代からマネジメントをする時代へと変化していること、公民学の連携で知恵と工夫を結集する必要があること、官民が連携したプラットフォームの取り組みについて概説
	エリアマネジメント	法政大学 現代福祉学部・人間社会研究科 教授 保井 美樹	60分	日本におけるエリアマネジメントに関する主な取り組み事例と今後の取り組みの方向性について概説
	公民連携の必要性	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会 代表理事/ 株式会社 URリンケージ東北支店 技術顧問 小島 博仁	30分	公民連携の必要性和自治体の意識改革が必要なことについて概説
	市民意識の醸成と都市経営方針の明確化	大東公民連携まちづくり事業 株式会社 代表取締役 入江 智子 大東市 政策推進部長 東 克宏	60分	大東市の公民連携基本計画及び公民連携基本条例及び大東市における公民連携による市営住宅建替事業等の取組について説明
第3クール 民間の実践者と向き合う自治体	北九州リノベーションまちづくり	北九州市 産業経済局 地域・観光産業振興部 商業・サービス産業政策課 サービス産業政策係長 上野 貢太郎	60分	北九州でのリノベーションまちづくりの経緯と、行政側の取り組みについて
	札幌中心部のエリアマネジメント	札幌駅前通まちづくり 株式会社 前代表取締役社長 白鳥 健志	60分	民間のまちづくり会社による公共空間の利活用の取り組みと維持管理の仕組みについて
	地域に眠るプレーヤーの発掘	株式会社 奏草舎 取締役/ 株式会社 Daisy Fresh 代表取締役 中山 拓郎 草加市 自治文化部 産業振興課長 高橋 浩志郎	60分	そうかリノベーションまちづくりにより、地域に眠っていた人材が発掘され、新しいライフスタイルの創出による取り組みについて
	民間プレーヤーの発掘	国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室 株式会社 宿坊クリエイティブ 代表取締役 水辺座店主 武内 淳	60分	都市再生推進法人制度及び、リノベーションスクールを通じた民間プレーヤーの発掘方法、民間プレーヤーの取り組み事例について
シンポジウム これからの行政が果たすべき役割	集合研修(現地開催+インターネット配信)			シンポジウムを実施
	関係団体紹介	UR、民都、マチミチ会議、ミズベリング		関係団体の取組施策紹介
	基調講演	株式会社 オープン・エー 代表取締役 馬場 正尊	60分	公民連携による公共空間活用と政策展開の可能性について
	講演	国土交通省 都市局		これからの行政官に期待したいこと
第4クール 個別手法	官民連携による都市公園の活用	公益財団法人 東京都公園協会 特命担当部長 町田 誠 株式会社 Nest 代表取締役 青木 純	60分	Park-PFI制度等の官民が連携した都市公園の整備・活用制度の概要及び官民連携による南池袋公園及びグリーン大通りの活用事例について
	街路空間の活用	国土交通省 都市局 街路交通施設課	60分	道路占用許可特例制度とストリートデザインガイドライン、都市再生特別措置法改正概要及び、神戸市の都市の活性化を目指す「えきまち空間」基本計画、「金沢市における駐車場の適正な配置に関する条例」等に基づく、駐車場整備の最適化に関する取り組みについて
		神戸市 都市局 都心再整備本部 都心三宮再整備課長 清水 陽		
	河川空間の活用	国土交通省 都市政策部 交通政策課 元主査 川口 甘司	30分	河川敷地占用許可準則の概要とミズベリングの取り組み及び、GURUWA戦略に基づいて乙川のリバーフロント活用を進めている岡崎市の取り組みについて
		国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 岡崎市 都市整備部 次長兼都市施設課長 香村 尚将	60分	
広場の活用	豊田市 経営戦略部長 栗本 光太郎	30分	「居心地良く歩きたくなる」まちなか形成に向けた「あそべるとよたプロジェクト」に基づき取組む広場活用等について	
最終クール	最終課題レポート発表会	都市経営と官民連携型のまちづくりセミナー内で開催		各地方整備局等において、グループごとに最終課題を発表し、講師から講評を行う。

## 「新たな都市空間創造スクール」課題テーマについて（予定）

No.	提出期間	課題テーマ／概要	作業形式	ファイル形式
事前課題	8月7日 ～8月27日	<p>&lt;課題レポート&gt;</p> <p>課題図書リストの中から1冊を読み終えたうえで、地域の産業、資源、課題等を踏まえた官民連携まちづくりのあるべき姿を記述</p>	個人ワーク	Word
第1課題	8月31日 ～9月24日	<p>&lt;受講者の視点で見た「まち」の課題と行政の関わり方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治体のこれまでの都市計画・まちづくりをまとめた上で、応募時に選定したエリアの今後の課題についてレポートを作成</li> </ul>	グループワーク	PowerPoint
第2課題	9月28日 ～10月15日	<p>&lt;グループで考える「まち」の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治体におけるこれまでの民間団体が行っているまちづくりの取組（自治体と連携している場合は内容も含めて）をまとめてレポートを作成</li> </ul>	グループワーク	PowerPoint
第3課題	10月19日 ～11月12日	<p>&lt;民間プレーヤーの発掘とその活動の促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民間プレーヤーを発掘し、エリアの課題に対する見解や活動プラン等のヒアリング・取りまとめ</li> <li>○ 民間プレーヤーとの連携によるまちづくり活動を促進するため、行政としてどのような対応を図るかを検討</li> </ul>	グループワーク	PowerPoint
第4課題	11月16日 ～12月10日	<p>&lt;課題図書レポート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前課題と別の選定した課題図書の読書とこれまでの各講義の視聴を通じて得た知見等をもとに、受講者自身及び民間を支える行政としての将来像について記述</li> </ul>	個人ワーク	Word
最終課題	11月16日 ～1月15日	<p>&lt;官民連携まちづくりの提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの課題レポートを基に、どのように官民連携まちづくりを推進するか検討し、民間による公共空間活用及び民間を支援する行政の取組と第一歩提案</li> </ul>	グループワーク	PowerPoint